

パネルディスカッションについて

1. 概要

10月の部会にて、議論の促進を目的にパネルディスカッションを実施します。環境衛生部会と廃棄物部会に分かれて、各テーマについてパネラー間の意見交換を行い、時間の範囲内で会場からの質問や意見も受け付けます。

所要時間	60分程度 ※関係省庁への要望について議論した後
司会進行	監事（環境衛生部会）、常任副会長（廃棄物部会）
パネラー	ブロック理事もしくはブロック理事が指名した方

2. テーマ

【環境衛生部会】

提案ブロック	北海道・東北ブロック（北海道）、 関東ブロック（神奈川県）
テーマ	環境衛生関係業務の効率化と監視指導技術の継承について
選定理由	・環境衛生関係業務は、営業6法、ビル管理、墓地、水道など非常に多岐に渡るとともに、その内容も業務毎の専門知識を要するものであることから、各自治体においては、環境衛生監視員の資格要件を満たす人員の募集、各種研修等を通じた人材育成等により対応している。近年、イベントサウナや ICT 設備を活用した無人形態の宿泊施設など、営業形態の多様化、新型コロナウイルス感染症等の健康危機管理業務、災害発生時の緊急対応等に加え、獣医師等の専門職の採用難による人員不足もあり、業務の効率化が求められていることから、各都道府県、政令市、中核市における取組を参考としたい。（北海道・東北ブロック） ・監視員等の人材の確保は、程度の差はあれど、各自治体、共通の課題であり、そういった環境の中では、これまで以上にベテラン監視員から若手監視員への技術継承の重要度が増しているのではないかと。監視指導技術の継承という課題への解決策は、座学研修を行うといった画一的なものではなく、そのアプローチ方法は、多岐に渡ると考える。このため、パネルディスカッションの中で、各自治体の先進事例やアイデアを伺うと共に、ディスカッションを通じて、それらをブラッシュアップできればと考える。（関東ブロック）

【廃棄物部会】

提案ブロック	東海・北陸ブロック
テーマ	リチウムイオン電池等の適正処理について
選定理由	・リチウムイオン電池は小型で軽量、エネルギー効率がよく、経済性に優れていることから、様々な身の回りの製品に普及している一方、強い衝撃や高温環境に弱く、全国の廃棄物処理施設や廃棄物の収集車で火災等の事故が頻発している。 これまで、各自治体や事業者により分別回収が進められているものの、リチウムイオン電池の普及規模を踏まえると対応にも限界があることから、今後、「製造」「流通」「廃棄」の各部門における有効的な回収・リサイクルシステムの確立及び推進に向けて、以下の点についてパネルディスカッションにて議論したい。 ① 拡大生産者責任の観点より、業界による回収の仕組みの一層の拡充と強化を促すための取り組みについて。 ② 製造者において、製品の設計段階から廃棄物の発生量を削減し、廃棄物となった場合も再生を容易にする取り組みについて。 ③ リチウムイオン電池が起因した火災が多発しているため、各自治体で対策を行っている、より安全で効果的な対策事例の紹介について。